

海外派遣者ら活動報告

国際協力ネットセミナー

「第三回国際協力ネット
ワークセミナー in おかや
ま」（国際協力推進協会、
AMD A主催）が八日、岡
山市奉還町の岡山国際交流
センターで開かれた。

「いま看護にできること」
をテーマに、約五十人が参
加。国際協力事業団（J I

C A）の国際緊急援助・医
療担当理事を務めた小沢大

二・同協会専務理事（メセ）が

講演で「保健分野の国際協

力には、その国の住民の一

人となることが必要で、水

の確保やし尿処理、産業振

興など“村おこし”的な活

動も不可欠。AMD A発祥

の地の岡山には継続的な支
援活動が期待されている」
と述べた。

J I C AやAMD Aから
派遣され、ザンビアやスリ
ランカなどで保健プロジェ
クトに携わった妹尾美樹、
近藤麻理、樋口まち子の三
氏が現地での活動を報告。
娯楽的要素を採り入れた住
民参加型の活動が有効であ
ったことなどを紹介した。